

1. 全学教育科目規程

制定 平成16年4月1日

名古屋大学全学教育科目規程

(趣旨)

第1条 この規程は、名古屋大学通則（平成16年度通則第1号。以下「通則」という。）第19条第7項、第20条第2項、第21条第6項、第23条の2第1項及び第3項並びに第23条の3第3項の規定に基づき、名古屋大学全学教育科目（以下「全学教育科目」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(科目区分及び内容)

第2条 全学教育科目の科目区分及び内容は、次のとおりとする。

科目区分	内容	
共通基礎科目	「自立した主体的学び」へと学習姿勢を転換し、よりよい未来社会を構築しそれを担う「勇気ある知識人」となるために、すべての学生が専門分野によらず共通に身につけるべき基礎的素養（汎用力・課題発見／解決力）を育む	
「大学での学び」基礎論	大学とは何か、大学で学ぶとはいかなることか、大学での学びを充実したものにするにはどのような知恵が必要かについて理解し、主体的な学習者としての態度の核を形成する	
基礎セミナー	少人数のセミナー形式による多面的な知的トレーニングを通じて、真理探究の面白さに触れるとともに、主体的な学びに必須の「調べ、考え、書き、話す」能力を涵養する	
言語文化科目	英語	学問の世界の共通言語、かつ国際社会で活躍するために必須の言語である英語によるコミュニケーション能力を高め、世界に通ずる窓を開く
	初修外国語	英語以外の外国語の学修を通して、多様な異文化に対する理解と寛容性を身につけ、国境を越えてよりよい未来社会の構築をめざして協同するために必須の複数外国語運用能力の基礎を築く
	日本語	日本語の能力を高め、日本の文化と社会に対する理解を深めることにより、留学生活における主体的学びのための基礎能力を身につける
健康・スポーツ科学科目	講義	健康に関する知識と自己管理能力及び運動・スポーツ習慣の必要性など、生涯スポーツの基礎となる知識を習得する
	実習	スポーツの実践を通して、運動・スポーツの楽しさを味わい、運動習慣獲得の基礎となる技能、コミュニケーション能力とリーダーシップ、チームワーク形成能力を身につける
データ科学科目	社会の様々な場面で新しい価値を生み出す基盤となるデータ分析能力を身につけるために、その基礎的知識と汎用的な分析技能を獲得する	

アントレプレナーシップ 科目	アントレプレナーシップを学ぶことを通じて、社会変化によって生じた課題を迅速に捉え、知識を知恵に変え解決法を導く意識や社会で必須となる組織的行動の重要性を学ぶ	
教養科目	教養ある「勇気ある知識人」として専門知を人類社会の問題解決に活用し幸福な未来を構築していく。そのために重要な資質である「異分野・異文化に開かれた態度」「分野を超えた幅広い知識への関心」及び「自己とその専門分野を相対化する視点」を獲得する	
国際理解科目	「異文化との出会い」を契機に、世界には多様な価値観があることを認識し、近現代の国際関係に関する知識と事項の文化に関する知識を身につける。これを通じて、自らの主張を展開する力と文化的社会的な寛容性とを兼ね備えた、国際社会で活躍しうる人間に成長するための基礎を築く	
現代教養科目	人文・社会系	現代社会が抱える課題の理解を踏まえ、その課題に対する学際的・総合的分析能力を養うとともに、目指す専門分野と他分野との関連性を理解することによって、専門知の社会的役割を認識し、自らの専門分野を相対化する視点を身につける
	自然系	
	学際・融合系	
超学部セミナー	自らの目指す専門性が自覚された学部3～4年次において、異なる分野を学ぶ学生が学部・学年を超えたチームを組み、自主的に設定した課題の解決のためにみんなで考え力を合わせる主体的経験を共有する。これを通じ、リーダーシップとチームワーク、異分野への開かれた態度、多様な人々の協調による課題解決能力を身につける	
分野別基礎科目	専門分野の学習の基盤となる最も基礎的な知識と技能を身につける	
人文・社会系基礎科目	人文・社会科学系の専門分野を学んでいく基盤として、それぞれの分野における学問体系を理解し、最も基礎的な知識と技能を身につける	
自然系基礎科目	自然科学系の専門分野を学んでいく基盤として、それぞれの分野における学問体系を理解し、最も基礎的な知識と技能を身につける	

(授業科目及び単位数)

第3条 全学教育科目の授業科目、単位数等は、別表のとおりとする。

2 全学教育科目の授業科目は、前項に規定するもののほか、臨時に開設することができる。

3 前項の授業科目、単位数等は、開設の都度、別に定める。

(単位の計算)

第4条 全学教育科目の授業科目の単位の計算は、次のとおりとする。

- 一 講義及び演習は、15 時間から 30 時間までの範囲で定める時間の授業をもって 1 単位とする。
- 二 実験及び実習は、30 時間から 45 時間までの範囲で定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(履修年次)

第5条 全学教育科目の履修年次は、学部において定める。

(履修要件)

第6条 全学教育科目の履修要件は、学部規程の定めるところによる。

(履修手続)

第7条 学生は、毎学期、指定の期日までに履修しようとする授業科目について、授業担当教員の承認を得て、所属の学部長に届け出なければならない。

2 履修の届出ができる単位数の上限及び履修の届出ができる単位数に算入しない授業科目については、学部規程の定めるところによる。

(単位の認定)

第8条 授業科目の履修に係る単位の認定は、学期末試験、追試験及び再試験等(以下「試験等」という。)によるもののほか、総合的に成績評価し、合格した者には、所定の単位を与える。

2 実験及び実習については、前項の規定にかかわらず、平常の成績をもって成績評価することができる。

3 試験等を受けることのできる授業科目は、前条の規定による手続を経て授業を受けたものに限る。

(追試験)

第9条 学期末試験を受けることのできなかった者は、やむを得ない理由がある場合に限り、追試験を受けることができる。

2 追試験を受けようとする者は、学期末試験終了後、指定の期日までに、所定の願書に次の書類を添え、教養教育院長に願い出て、その許可を受けなければならない。

一 傷病により学期末試験を受けることのできなかった者は、医師の診断書

二 その他やむを得ない理由により学期末試験を受けることのできなかった者は、その証明書

(再試験)

第10条 学期末試験又は追試験を受け不合格となった授業科目のある者は、教養教育院が別に定めるところにより、当該授業科目について再試験を受けることができる。

2 再試験の成績評価は、C-又はFとする。ただし、この区分により難しいものについては、P又はNPとする。

(成績評価)

第11条 成績評価は、名古屋大学における成績評価及びGPA制度に関する規程(令和元年度規程第68号)の定めるところによる。

(検定試験の成績の取扱い)

第12条 通則第23条の2の規定に基づく検定試験は、次のとおりとする。

一 実用英語技能検定

二 技術英語能力検定

三 国際連合公用語英語検定試験

四 Test of English as a Foreign Language

五 Test of English for International Communication

六 ケンブリッジ英語検定

七 International English Language Testing System

八 ゲーテ・ドイツ語検定試験

九 ドイツ語技能検定試験

十 オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験

十一 DELF DALF

十二 実用フランス語技能検定試験

十三 ロシア語検定試験

十四 ロシア語能力検定試験

十五 中国語検定試験

十六 漢語水平考試 (HSK)

- 十七 DELE
- 十八 スペイン語技能検定
- 十九 韓国語能力試験
- 二十 「ハングル」能力検定試験
- 二十一 日本語能力試験

- 2 前項の単位の認定は、本学の単位認定審査に合格した者に行う。ただし、前項第8号から第20号までに規定する検定試験については、国際プログラム群により受け入れられた学生以外の学生を対象とし、前項第21号に規定する検定試験については、国際プログラム群により受け入れられた学生のみを対象とする。
- 3 第1項の検定試験により与えることのできる認定可能単位数及び認定対象授業科目は、次のとおりとする。

検定試験の種類	レベル・級位	言語文化科目「英語」	
		認定可能単位数	認定対象授業科目
実用英語技能検定 技術英語能力検定 国際連合公用語英語検定試験 Test of English as a Foreign Language TOEFL iBTテスト (TOEFL Internet-based Test) を受験した者 Test of English for International Communication Listening & Reading Test を受験した者 ケンブリッジ英語検定 International English Language Testing System	1級 プロフェッショナル 特A級, A級 88点以上 787点以上 C2 Proficiency, C1 Advanced 7.0以上	2単位	英語(基礎) 英語(中級) 英語(コミュニケーション)

検定試験の種類	レベル・級位	言語文化科目「初修外国語」	
		認定可能単位数	認定対象授業科目
ゲート・ドイツ語検定試験	A1	4単位	ドイツ語基礎1~2, ドイツ語初級完成
	A2, B1~C2	6単位	ドイツ語基礎1~2, ドイツ語初級完成, ドイツ語中級1~2, ドイツ語中級
ドイツ語技能検定試験	4級	4単位	ドイツ語基礎1~2, ドイツ語初級完成
	3級~1級	6単位	ドイツ語基礎1~2, ドイツ語初級完成, ドイツ語中級1~2, ドイツ語中級
オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験	A1	4単位	ドイツ語基礎1~2, ドイツ語初級完成
	A2, B1~C2	6単位	ドイツ語基礎1~2, ドイツ語初級完成, ドイツ語中級1~2, ドイツ語中級

DELTA DALF	DELTA A2	4 単位	フランス語基礎 1～2, フランス語初級完成
実用フランス語技能検定試験	DELTA B1～B2, DALF C1, C2	6 単位	フランス語基礎 1～2, フランス語初級完成
	3 級	4 単位	フランス語基礎 1～2, フランス語初級完成
ロシア語検定試験	準 2 級～1 級	6 単位	フランス語基礎 1～2, フランス語初級完成
	入門レベル	4 単位	ロシア語基礎 1～2, ロシア語初級完成
ロシア語能力検定試験	基礎レベル, 第 1～第 4 レベル	6 単位	ロシア語基礎 1～2, ロシア語初級完成
	4 級	4 単位	ロシア語基礎 1～2, ロシア語初級完成
	3 級～1 級	6 単位	ロシア語基礎 1～2, ロシア語初級完成
中国語検定試験	4 級	4 単位	中国語基礎 1～2 中国語初級完成
漢語水平考試 (HSK)	3 級～1 級	6 単位	中国語基礎 1～2 中国語初級完成
	4 級	4 単位	中国語基礎 1～2 中国語初級完成
DELE	5 級～6 級	6 単位	中国語基礎 1～2 中国語初級完成
	DELE A1	4 単位	スペイン語基礎 1～2, スペイン語初級完成
スペイン語技能検定	DELE A2, B1～C2	6 単位	スペイン語基礎 1～2, スペイン語初級完成
	5 級	4 単位	スペイン語基礎 1～2, スペイン語初級完成
	4 級～1 級	6 単位	スペイン語基礎 1～2, スペイン語初級完成
韓国語能力試験	2 級	4 単位	朝鮮・韓国語基礎 1～2, 朝鮮・韓国語初級完成
	3 級～6 級	6 単位	朝鮮・韓国語基礎 1～2, 朝鮮・韓国語初級完成
「ハングル」能力検定試験	4 級	4 単位	朝鮮・韓国語基礎 1～2, 朝鮮・韓国語初級完成
	3 級～1 級	6 単位	朝鮮・韓国語基礎 1～2, 朝鮮・韓国語初級完成

検定試験の種類	レベル	言語文化「日本語」	
		認定可能 単位数	認定対象授業科目
日本語能力試験	N1, N2 レベル	6 単位	日本語 1, 日本語表記 1(漢字 200)

(雑則)

第13条 この規程に定めるもののほか、全学教育科目に関し必要な事項は、教育分科会の議を経て、総長が定める。

別表(第3条関係)

区分	授 業 科 目	単 位	備 考	
共通 基礎 科目	「大学での学 び」基礎論	1		
	基礎セミナー	基礎セミナー	2	
		基礎セミナーA	2	医学部医学科を対象
基礎セミナーB		2	医学部医学科を対象	
言語 文化 科目	英 語	英語 (サバイバル)	1	ただし、当該科目は随意科目の 単位として扱い、卒業に必要な 単位に認定しない。
		英語 (基礎)	2	
		英語 (中級)	2	
		英語 (コミュニケーション)	2	
		英語 (上級)	2	
		英語 (セミナー)	2	
		英語 (上級リーディング) 1	1	
		英語 (上級リーディング) 2	1	
		特別英語セミナー (資格試験英語)	2	
		特別英語セミナー (A類)	2	
		特別英語セミナー (B類)	2	
		特別英語セミナー (C類)	2	
		英語 (上級) 1	2	国際プログラム群学生を対象
		英語 (上級) 2	2	国際プログラム群学生を対象
		英語 (上級) 3	2	国際プログラム群学生を対象
	初 修 外 国 語	多言語修得基礎	1	
		ドイツ語基礎 1	2	
		ドイツ語基礎 2	2	
		ドイツ語初級完成	2	
		ドイツ語中級 1	2	
		ドイツ語中級 2	2	
		ドイツ語中級	2	
		ドイツ語上級	2	
		フランス語基礎 1	2	
		フランス語基礎 2	2	
		フランス語初級完成	2	
		フランス語中級 1	2	
		フランス語中級 2	2	
		フランス語中級	2	
		フランス語上級	2	
		ロシア語基礎 1	2	
		ロシア語基礎 2	2	
		ロシア語初級完成	2	
ロシア語中級 1	2			
ロシア語中級 2	2			
ロシア語中級	2			
ロシア語上級	2			
中国語基礎 1	2			

	中国語基礎 2	2	
	中国語初級完成	2	
	中国語中級 1	2	
	中国語中級 2	2	
	中国語中級	2	
	中国語上級	2	
	スペイン語基礎 1	2	
	スペイン語基礎 2	2	
	スペイン語初級完成	2	
	スペイン語中級 1	2	
	スペイン語中級 2	2	
	スペイン語中級	2	
	スペイン語上級	2	
	朝鮮・韓国語基礎 1	2	
	朝鮮・韓国語基礎 2	2	
	朝鮮・韓国語初級完成	2	
	朝鮮・韓国語中級 1	2	
	朝鮮・韓国語中級 2	2	
	朝鮮・韓国語中級	2	
	朝鮮・韓国語上級	2	
	イタリア語基礎 1	2	
	イタリア語基礎 2	2	
	ポルトガル語基礎 1	2	
	ポルトガル語基礎 2	2	
日 本 語	日本語文章表現法	2	外国人留学生を対象
	日本語口頭表現法	2	外国人留学生を対象
	多文化コミュニケーション論	2	外国人留学生を対象
	日本語総合演習 1	2	外国人留学生を対象
	日本語総合演習 2	2	外国人留学生を対象
	レポート・論文作成法	2	
	日本語 1	4	国際プログラム群学生を対象
	日本語 2	4	国際プログラム群学生を対象
	日本語 3	2	国際プログラム群学生を対象
	日本語 4	2	国際プログラム群学生を対象
	日本語 5	2	国際プログラム群学生を対象
	日本語 6	2	国際プログラム群学生を対象
	日本語表記 1 (漢字 200)	2	国際プログラム群学生を対象
	日本語表記 2 (漢字 400)	2	国際プログラム群学生を対象
	アカデミック日本語 1A	2	国際プログラム群学生を対象
	アカデミック日本語 2A	2	国際プログラム群学生を対象
	アカデミック日本語 3A	2	国際プログラム群学生を対象
	アカデミック日本語 4A	2	国際プログラム群学生を対象
	アカデミック日本語 1B	2	国際プログラム群学生を対象
	アカデミック日本語 2B	2	国際プログラム群学生を対象
	アカデミック日本語 3B	2	国際プログラム群学生を対象
	アカデミック日本語 4B	2	国際プログラム群学生を対象

		アカデミック日本語 5 (漢字 2200)	2	国際プログラム群学生を対象
		ビジネス日本語 1	2	国際プログラム群学生を対象
		ビジネス日本語 2	2	国際プログラム群学生を対象
		ビジネス日本語 3	2	国際プログラム群学生を対象
		ビジネス日本語 4	2	国際プログラム群学生を対象
健康・スポーツ科学科目	講義	健康・スポーツ科学講義	2	
	実習	健康・スポーツ科学実習 A	1	
		健康・スポーツ科学実習 B	1	
データ科学科目	講義	データ科学基礎	1	
	演習	データ科学基礎演習 A	1	
		データ科学基礎演習 B	1	
アントレプレナーシップ科目		アントレプレナーシップ初歩	1	
教養科目	国際理解科目	国際関係論	2	
		国際開発学	2	
		グローバル化時代の国際社会	2	
		国際学	2	
		グローバル化と国際教育交流	2	
		留学生と日本	2	
		日本語教育実践入門	2	
		囲碁と日本文化	2	
		Studium Generale A	2	
		Studium Generale B	2	
		Biology in English	2	
		Special Mathematics Lecture		
		英語・プレゼンテーション A1	2	
		英語・プレゼンテーション A2	2	
		英語・プレゼンテーション B1	2	
		英語・プレゼンテーション B2	2	
		フランス語・アカデミックライティング A	2	
		フランス語・アカデミックライティング B	2	
		Introduction to Intercultural Competence	2	
		Immigration in Japan	2	
		海外留学準備セミナー	2	
		短期海外研修 A (北米)	2	
		短期海外研修 B (北米)	2	
		短期海外研修 C (欧州)	2	
		短期海外研修 D (欧州)	2	
		短期海外研修 E (アジア・オセアニア)	2	
		短期海外研修 F (アジア・オセアニア)	2	
		海外言語文化演習 (英語)	2	
		海外言語文化演習 (ドイツ) 1	1	
		海外言語文化演習 (ドイツ) 2	1	

現代 教養 科目		海外言語文化演習（フランス）1	1		
		海外言語文化演習（フランス）2	1		
		海外言語文化演習（中国）1	1		
		海外言語文化演習（中国）2	1		
		EMI 科目			
		JMI 科目		国際プログラム群学生を対象	
		連携開設科目			
	人文 ・ 社会系	哲学・思想入門	2		
		歴史学入門	2		
		言語学入門	2		
		文化・芸術学入門	2		
		社会学入門	2		
		心理学入門	2		
		現代社会と教育	2		
		日本国憲法	2		
		法学入門	2		
		政治学入門	2		
		経済概論	2		
		経営・会計入門	2		
		連携開設科目			
		自然系	物理学入門	2	
			化学入門	2	
	材料科学入門		2		
	生命科学入門 A		2		
	生命科学入門 B		2		
	地球惑星科学入門		2		
	大気水圏科学入門		2		
	現代医学入門		2		
	現代数学入門		2		
	放射線と放射能		2		
	物質と科学		2	国際プログラム群学生を対象	
	連携開設科目				
	学際 ・ 融合系		芸術論 A	2	
		芸術論 B	2		
		文化論・芸術論	2		
		環境学入門	2		
大学でどう生きるか		2			
青年期における心の健康		2			
ライフスキル入門		2			
クリエイティブイノベーション講座		2			
キャリア形成論		2			
メディアリテラシー		2			
社会安全学		2			
ジェンダー学		2			
学問の面白さを知る		2			
名古屋大学の歴史		2			

		防災減災学	2	
		博物館概論	2	
		科学論・技術論	2	
		科学史・技術史	2	
		科学・技術の倫理	2	
		医療人類学	2	
		地域医療フィールドワーク入門	2	
		医学と教養	2	
		社会課題解決とアントレプレナーシップ	1	
		イノベーション基礎	1	
		シリアル・イノベーション	1	
		バイオテクノロジー	2	国際プログラム群学生を対象
		連携開設科目		
	超学部セミナー	超学部セミナー		

分野別基礎科目	人文・社会系基礎科目	哲学	2	
		歴史学	2	
		文学	2	
		地理学	2	
		社会学	2	
		心理学	2	
		比較文化論	2	
		宗教学・文化人類学	2	
		アーカイブズ学	2	
		教育学	2	
		比較教育論	2	
		高等教育学	2	
		日本国憲法	2	
		法学	2	
		政治学	2	
		経済学	2	
		経営・会計	2	
		統計学	2	
		研究方法論	2	国際プログラム群学生を対象
	自然系基礎科目	微分積分学Ⅰ	2	
		微分積分学Ⅱ	2	
		線形代数学Ⅰ	2	
		線形代数学Ⅱ	2	
		複素関数論	2	
		数学通論Ⅰ	2	
		数学通論Ⅱ	2	
		リメディアル数学	2	国際プログラム群学生を対象 ただし、当該科目は随意科目の単位として扱い、卒業に必要な単位に認定しない。
力学Ⅰ	2			

	力学Ⅱ	2	
	電磁気学Ⅰ	2	
	電磁気学Ⅱ	2	
	物理学基礎Ⅰ	2	
	物理学基礎Ⅱ	2	
	物理学基礎Ⅲ	2	国際プログラム群学生を対象
	物理学実験	2	
	化学基礎Ⅰ	2	
	化学基礎Ⅱ	2	
	化学実験	2	
	生物学基礎Ⅰ	2	
	生物学基礎Ⅱ	2	
	生物学実験	2	
	地球科学基礎Ⅰ	2	
	地球科学基礎Ⅱ	2	
	地球科学実験	2	

(注) 健康・スポーツ科学科目の健康・スポーツ科学実習 A 及び B に係る授業科目, 国際理解科目の Special Mathematics Lecture, EMI 科目, JMI 科目及び連携開設科目, 現代教養科目の連携開設科目並びに超学部セミナーに係る授業科目及び単位数等は, 教養教育院統括会議が別に定める。